

## 美しい山形・最上川フォーラム平成 28 年度通常総会 議事録

日 時：平成 28 年 6 月 29 日（水）13：30～15：00

場 所：緑町会館 401 号会議室

### 1. 開会

司会（一般財団法人山形県理化学分析センター 松本さん）

それでは定刻となりましたので、ただ今より、平成 28 年度美しい山形・最上川フォーラム通常総会を開会します。私は本総会の司会を務めさせていただきます、一般財団法人山形県理化学分析センターの松本と申します。どうぞよろしく願いいたします。

はじめに、会長の柴田洋雄から、ご挨拶を申し上げます。

### 2. 会長あいさつ

（柴田会長）

皆さん、こんにちは。フォーラムは平成 13 年に発足して、15 年目になります。15 年良くもったなという感じがします。水環境を良くしようという全国の集まりがありますが、そこに参加すると 15 年続いていること、会員が 4,000 を超えているということで「凄いですね」と言われます。また、山形県全体を対象にしているのは珍しいということでもあります。それから、多くの場合、他は NPO を取っているの、国の機関・県・市町村は会員となっていないのですが、我々は意図的に NPO を取っていないので、国の機関、県・市町村も入会しています。そのような意味で我々の組織の特色が、この 15 年間低空飛行でもやれてきた要因かと思っています。

28 年度の総会ですので、27 年度にどういうことをやったのかという報告と 28 年度に何をするかという両方の説明が、本日のメインになっています。緊縮財政で、財源があまりないので、それを有効に使おうということで運営をしています。ですから、かつては資料をたくさん提供したり、場合によっては、私の印象ですがお茶を提供していたりしたのではないかと思います。でも今はお茶もありません。資料も必要最小限で、会員全員に配布した議案書も当日持ってきて下さいということで、できるだけ費用節約で行っていきましょうということです。中身は従来と変わらず、濃いものでやっていきたいと思っていますので、本日も皆さんから忌憚のないご意見を承りながら進めていきたいと思っています。皆さんからの意見や注文が何もなくなって、無視されると低空飛行が墜落してしまうので、今後とも活動していくためには、ぜひ皆さんから積極的な注文などしていただけるとありがたいと思っています。本日の会もよろしく願いいたします。

司会（松本さん）

ありがとうございました。

ここで、美しい山形・最上川フォーラム顧問であります、吉村美栄子山形県知事よりご挨拶を頂戴したいと思います。山形県企画振興部高橋部長よりご披露お願いいたします。

ご挨拶披露（高橋部長）

皆さん、こんにちは。本日お集りの皆様には、大変お忙しい中でのご出席、本当にご苦勞様でございます。それでは私の方から知事の挨拶を代読させていただきたいと思っております。

美しい山形・最上川フォーラム平成 28 年度通常総会の開催にあたり、一言ご挨拶を申し上げます。フォーラムにおかれましては、「美しい山形・最上川 100 年プラン」のもと、母なる川「最上川」を美しい山形づくりのシンボルに掲げ、県内各地の様々な方々と連携し、水環境の保全や川が育む文化の継承、さらには最上川を地域の活性化につなげる事業を県全域で活発に進められております。また、会員の皆様におかれましては、山形県の豊かな自然や文化を後世に引き継ぐため、日々御尽力いただいております。深く感謝の意を表する次第であります。

さて、フォーラムが川と海をつなぐ美しい元気な山形づくりに向け、取り組まれております「スポーツ GOMI 拾い大会」や「身近な川や水辺の健康診断」は、多くの県民の皆様の参加を得て、さらには企業や民間団体、学校、行政など様々な関係者の連携のもと、河川や海岸の環境改善に大きく貢献をしております。そしてこうした取組みは地域の課題を解決する「協働」のまさに成功例として、ほかの NPO 団体の模範ともなっております。本県で本年 9 月に開催されます「第 36 回全国豊かな海づくり大会」などを通して、本県を訪れる方々に皆様の取組みを通して、守り育てられております山形の美しさや魅力を大いにアピールしてまいりたいと考えております。

結びに、美しい山形と最上川を子供たちや若者に残していくため、これからも力強い活動が展開されることを期待いたしますとともに、皆様の御活躍を心からご祈念申し上げます、ご挨拶といたします。

平成 28 年 6 月 29 日、美しい山形・最上川フォーラム顧問 山形県知事 吉村美栄子

以上でございます。皆様方には今後ともよろしくお願いを申し上げます。ありがとうございます。

司会（松本さん）

ありがとうございました。

ここで、祝電を頂戴しておりますので、ご披露申し上げます。

（山形県商工会議所連合会会長・山形県商工会議所会頭 清野伸昭様からの電報披露）

次に本日出席の役員を紹介いたします。名簿順に紹介させていただきます。

（役員を紹介）

なお、本日は県の関係機関の皆様にもご出席いただいております。

高橋委員につきましては、ここで公務のため退席させていただきます。

それでは次第に従いまして、進めて参ります。総会の議長は、規約第 10 条第 3 項の規定により、会長が行うことになっております。柴田会長、議長席へお願いいたします。

### 3. 議事

議長（柴田会長）

それではしばらくの間、議長を務めさせていただきます。よろしく申し上げます。この後皆さんからいろんなご意見を活発に出してもらいたいと思うのですが、あとから誰がおっしゃられた

ことかフォローできないと困るので、お名前を言っていただくとそのあとのフォローが良いので、発言される場合はお名前を言っていただければと思います。意見を尊重するために、その趣旨とかわからないときに誰に聞けば良いかということのために、お名前をいただくということなので、ご協力をお願いいたします。

議事録署名人が必要なので、議事録署名人の指名について皆さんから何かご提案があれば承ります。

(会場提案なし)

議長 (柴田会長)

特になければ事務局で考えている方をお願いしてよろしいでしょうか。

(会場異議なし)

議長 (柴田会長)

事務局の方からお願いします。

事務局 (伊藤事務局長)

議事録署名人につきましては、落合佑治さんと渡辺善彦さんを提案させていただきます。

議長 (柴田会長)

落合さん、渡辺さんよろしいでしょうか。

議事録署名人 (落合さん、渡辺さん) 承諾

(会場異議なし)

議長 (柴田会長)

それではお二人についての事務局の提案を、皆さんからお認めいただいたということで議事録署名人をお願いしたいと思います。ありがとうございました。

議長 (柴田会長)

では早速議事に入ります。

#### (1) 平成 27 年度事業報告及び決算案

はじめが、第 1 号議案の平成 27 年度事業報告及び決算案についてです。これについては、内容がそれぞれの部会からになっておりますので、各部会長からお願いいたします。最初に清流・環境対策部会、そのあと最上川文化・地域活性化部会、その他については事務局長からという形で進めていきたいと思っております。よろしく申し上げます。

菅原部会長

それでは第1号議案の清流・環境対策部会についてご報告申し上げます。最初の文を読み上げます。

「身近な川や水辺の健康診断」は、初参加でも調査しやすいよう事前指導や調査サポートの有無の記載欄を申込書に設け、会員等の協力のもと積極的に行った。「美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」では、イベントとのコラボレーションで前年取り組んだ「スポーツ GOMI 拾い」との同時開催が実施でき、これまでの活動の複合的な継続へと繋がった。

上記のステップアップ事業「捨てない・すてさせない in 最上川」によるゴミ発生源対策は、25年度から取り組んでいる「スポーツ GOMI 拾い」の日本スポーツ GOMI 拾い連盟山形支部として、関係団体との開催が定着してきている。あわせて海岸漂着物問題啓発の出張講座を、従来から実施している「身近な川や水辺の健康診断」参加の小中学校等で行うなど、「海岸漂着物問題対策」を全県で展開し、さらなる普及啓発に努めました。各事業の項目が7つあります。

まず一つ、「第14回身近な川や水辺の健康診断」です。実施状況は、一斉調査期間が平成27年6月6日から6月14日まで。学校などで調査の場合は7月31日までです。主な調査内容は例年どおりですが、透視度計による透視度調査、パックテストによる水質調査、これは6項目でご覧のとおりです。ゴミや川の中や水辺の生きもののすみ場の様子など水辺環境の簡易目視調査。水生生物調査は山形県環境科学研究センターと連携し、希望グループについては身近な川や水辺の健康診断との同時申込みが可能としております。参加申込みいただいたのは96団体・995名・257箇所です。調査実施した結果は93団体・985名・250箇所でございます。各地域、年度別実施状況は表をご覧ください。事業へ支援をいただいております。パックテストと比色カード（COD以外の5項目）については、国土交通省東北地方整備局山形河川国道事務所様、酒田河川国道事務所様、新庄河川事務所様よりご支援をいただいております。また、パックテストによる水質調査とあわせて、公定法による調査をご協力いただいております。協力いただいているのは公益社団法人山形県水質保全協会様、一般財団法人山形県理化学分析センター様、エヌエス環境株式会社様、株式会社テトラス様、東北環境開発株式会社様、株式会社東北サイエンス様、株式会社理研分析センターでございます。参加者への現地調査サポートを行っております。参加団体からの要請に応え、会員専門機関や地域部会のご協力により、14団体に事前指導や現地にて水質調査指導や調査全般のサポートを行っております。協力いただいた団体・会員様は、公益社団法人山形県水質保全協会様、しらたかサイエンスクラブ様、心のふるさと新井田川の会様でございます。調査結果集計は平成26年度に引き続き、公益社団法人山形県水質保全協会様の協力をいただきましてデータを作成し、報告書「笑顔を写す山形の川」に掲載しております。またあわせて、フォーラムホームページ上に「水辺水質マップ」として掲載しております。2項目目、「第13回美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」を行っております。実施期間は8月～10月までです。参加申込みいただいたのは55団体・1,313名でございます。調査実施結果は53団体・1,348名でございます。その内容をご覧の表のとおりでございます。年度別の参加状況についても平成14年より26年までの表をご覧ください。データカード作成にご協力いただいたグループの活動経費の一部を一律3,000円という形で支援させていただいております。活動の効率化を図るため、参加申込状況や調査結果をホームページの「最上川環境マップ」へ掲載し、随時更新いたしております。

す。いただいたデータはクリーンアップ全国事務局を通じて、全国・国際レベルの研究データとして提供し活用いたしております。他イベントとのコラボレーションを行っております。事務局にて広報協力・キャンペーンの概要説明の実施・参加等を行っております。「AQUA SOCIAL FES!!2015」～最上川クリーンアップキャンペーン～については、参加者が合計200名程です。第1回が7月11日、河北町グリーンパーク。第2回が9月5日、村山市農村文化保存伝承館周辺のむらやまフットパスで行いました。また、水土里ネット三郷堰の9月8日、「ふれんどしつぷ水辺の郷サミット」を中山町で行っております。参加者70名程いただいております。どちらのコラボレーションにおきましてもスポーツ GOMI 拾いを同時開催しております。3項目目、「ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」」を行っております。(1)「川～海をつなぐ美しい元気な山形づくり」業務として、①スポーツ GOMI 拾いの開催。26年度に引き続き海岸漂着物問題対策の普及啓発として、県内各地で24大会実施いたしました。日本スポーツ GOMI 連盟の山形支部として活動を開始いたしました。②海岸漂着物問題普及啓発を行いました。「身近な川や水辺の健康診断」に参加する小・中・高校生等に対して、出張講座を行っております。12団体において実施いたしております。③小水路ごみトラップ（簡易柵）の設置箇所のフォローアップを行っております。26年度設置しました5箇所について、回収ごみの種類の把握を管理している方々からご協力いただき実施いたしております。消耗品や管理用品の補充等もしております。(2)海岸漂着物問題対策との連携では、6月12日、山形県海岸漂着物対策推進協議会総会に出席しております。(3)川ごみ団体との連携を行っております。「第1回川ごみサミット」に参加後、サミット終了時に設立した「全国川ごみネットワーク」の会員として情報共有などを図っております。また、1月22日、「第2回川ごみサミット」に参加いたしております。(4)ホームページ「最上川環境マップ」の整備を行っております。クリーンアップ活動の効率化を図るため、「クリーンアップ・キャンペーン」、「スポーツ GOMI 拾い」の実施予定日程・場所・結果をマップに掲載し随時更新いたしております。「身近な川や水辺の健康診断」の調査結果は、「水辺水質マップ」として掲載いたしております。4項目目、「第11回もがみがわ水環境発表会」を実施いたしております。県内各地において水環境向上の活動に取り組む個人・団体・学校（小・高・大学）・研究機関が、日ごろの活動や研究成果を発表いたしております。実行委員による2回の運営準備会議で実施詳細を決定し開催しました。実施日は11月7日、山形県産業創造支援センター多目的ホール及びマルチメディアホールで行いました。約100名の参加をいただきました。協賛、後援はご覧のとおりです。実行委員は当フォーラムの清流・環境対策部会のほか国土交通省山形河川国道事務所、酒田河川国道事務所、新庄河川事務所、山形県より参加していただいております。口頭発表セッションが8団体、ポスターセッションが10団体、合計18団体で、うち小学生1団体は「かべ新聞」として発表していただいております。山形大学農学部の助教 梶原先生より「ため池の水環境と今後の課題について～湖沼の水質保全と生物との共生をめざして～」というテーマで基調講演をいただいております。講演要旨集のカラー版をフォーラムホームページに掲載しております。5項目目「美しい水辺づくり功労賞」を実施いたしております。「身近な川や水辺の健康診断」に継続して参加するとともに、水辺の環境向上へ向けた具体的な活動実施している団体、環境教育に貢献している2団体を表彰いたしました。11月7日開催の「第11回もがみがわ水環境発表会」口頭発表に先立ち表彰式を行いました。受賞団体は、鶴岡市立五十川小学校、山形県立新庄北高等学校

科学部でございます。表彰状と副賞を贈呈いたしました。「もがみがわ水環境発表会」講演要旨集へ活動紹介を掲載しております。さらにポスターを作成し会場にて掲示を行い、縮小版を受賞団体へ進呈いたしております。さらにホームページにも掲載しております。6項目目ですが、これまでの「身近な川や水辺の健康診断」「美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」のデータを取りまとめ、その結果を書誌として報告書「笑顔を写す山形の川」を2,000部作成いたしております。7項目目、広報啓発として、講演会やシンポジウムでの発表等や環境展のブースに出展し、清流・環境対策部会事業及び当フォーラムの活動の広報、環境保全の啓発に努めました。5月18日、河北町衛生指導員研修会にて大泉清流環境対策部会副会長が「みんなで考えよう私たちの環境」と題して講演しております。9月27日、「環境フェアつるおか2015」ブースにおいて広報啓発をいたしております。10月24日～25日、「やまがた環境展2015」ブースにおいても広報啓発をいたしております。11月26日、山形県主催「美しい水と森のフォーラム」(村山・置賜)にて、菅原清流・環境対策部会長が活動事例発表とパネルディスカッションのパネリストとして参加いたしております。清流・環境対策部会からの報告は以上です。

#### 議長（柴田会長）

はい、ありがとうございました。続きまして、最上川文化・地域活性化部会お願いします。

#### 本間部会長

部会長を務めております本間でございます。ご説明申し上げます。

「最上川夢の桜街道づくり」は市町村を通じた桜の維持管理への支援に加え、相談の要望のあった市町村に樹木医を派遣し、調査、相談を行いながら継続的に関わり、維持管理を強化しております。桜の維持管理を行う「桜守」の育成のため、金山町にて研修会を行いました。10年の折返しとなる東日本大震災復興支援プロジェクトは、南陽市で「東北・桜サミット」を開催。東北・夢の桜街道推進協議会ではこれまでの桜に加え、桜は4・5月の2か月位になりますが、四季を通じて交流人口を増やそうということで、東北の復興と創生を目指すものとなりました。隔年開催している「舟運文化シンポジウム」は、地域部会で活動の広がりを見せております「紙芝居」をキーに、県民に最上川とその周りの暮らし、文化により親しんでもらい、次世代へ文化の継承をしていくため、基調講演・パネルディスカッションなどを酒田市において開催しております。各事業については、元ニュースキャスターであります当部会の副部会長の横尾さんから説明させていただきますので、よろしく申し上げます。

#### 横尾副部会長

私から読み上げさせていただきます。「1最上川夢の桜街道づくり」といたしまして、(1)最上川夢の桜街道づくり地域活動支援事業を行いました。地域で行う桜の植栽・維持管理などを、市町村を通じて支援。支援団体が維持管理活動を実施しました。10市町村、11団体に支援しております。(2)相談のあった5つの市等に対して、樹木医を派遣して現地にて調査。桜と桜の育成にかかわる周辺樹木の報告を行い、維持管理の強化を推進いたしました。「2東日本大震災復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八カ所巡り」(1)「東北・夢の桜街道推進協議会」主催の「第4回“美しき桜心の物語”の語り会」を開催いたしました。こちらは元NHKア

ナウンサーの平野啓子さんにご参加いただき、瀬戸内寂聴さんの物語を語っていただきました。5月1日(金)、青森県弘前公園にて開催されました。(2)7月22日(水)、青森市「青森県観光物産館アスパム」にて「東北・夢の桜街道推進協議会」平成27年度総会を開催いたしました。協議会メンバーが一同に集結し、平成26年度事業決算、平成27年度事業計画予算等協議を行いました。(3)「東北・桜サミット～桜がつむぐ東北の未来～」の開催。10月27日(火)、南陽市文化会館でこけら落としのイベントとして開催いたしました。東北6県、首都圏からおおよそ700人にご参加いただきました。第1部といたしまして①「津波そして桜」の上映、②東北酒蔵街道の発表。第2部は5周年記念シンポジウムを開催。パネリストに観光庁長官、秋田県副知事を含む東北6県の行政関係者を迎え、これまでの東北復興支援運動に対する評価や今後の展望について討論し、「東北・夢の桜街道」と「東北酒蔵街道」を施策に含めた「東北創生」を宣言いたしました。

(4)「東北夢の桜街道」にご寄付をいただいた、山形信用金庫様の春のクリーンアップ活動にフォーラムにて参加いたしました。「3夢の桜街道～さくら物語～」の発行。事業報告を主とした機関誌として発行いたしました。「4夢の桜街道キャンペーン」、4～5月にかけて協賛金融機関各支店で開催いたしました。資料・啓発物品の配布を行いました。28年度の啓発物品については、写真コンテスト入賞作品から2作品を使用した一筆箋を作成いたしました。「5環境先進都市(まち)づくり構想～次世代木質建築協議会～」、6月26日(金)、第18回として、「南陽市文化会館」完成見学会を開催しました。また、柴田会長が山形県「やまがた森林(モリ)ノミクス」懇話会の会長として、これまでの協議会の検討内容等を参考にさせていただいております。「6写真コンテスト受賞作品写真展」は、「かわとぴあ2015in山形」ブースにて前年度実施した「美しい元気な山形づくり写真コンテスト～次世代に繋ぐ川と人～」入賞作品を展示いたしました。9月20日(日)、会場は、山形市馬見ヶ崎川河川敷「日本一の芋煮会フェスティバル」内です。「7舟運文化シンポジウム」の開催。テーマを「最上川今昔話～舟運文化と流域の人びと・暮らしが教えてくれること～」といたしまして、3月20日(日)、酒田市出羽遊心館を会場に庄内地域部会と共催で開催いたしました。おおよそ110名の方にご参加いただきました。第1部にオープニングアクトとして、紙芝居「傘福物語」、こちらは庄内地域部会で製作しましたが、上演いたしました。基調講演として前財団法人本間美術館長の高瀬靖様に「酒田湊(みなと)と雛(ひいな)の縁(えにし)」と題して講演していただきました。第2部は、村山地域部会が製作した紙芝居「光る雪の軌跡」をDVD上演いたしました。そしてテーマ「最上川を通して見る過去・現在・未来～つなぐ・つながる」と題して、パネリストに東北公益文科大学教授の平松緑氏を始めとしたパネルディスカッションを行いました。私、横尾がコーディネーターを務めさせていただきました。そのほか展示コーナーを設けまして、シンポジウムにゆかりのある傘福、鶴渡川原人形、雛菓子の木型、紅花に関する資料などを展示いたしました。「8ホームページの更新」を行いました。「美味しいやまがた情報」は、引き続き情報提供を受け随時更新し、山形の観光資源を発掘し県内外に発信いたしました。情報を提供しやすいように投稿フォームを作成して対応しております。ムービー紹介バナーに「スポーツGOMI拾い」、紙芝居の紹介動画なども掲載しております。他の活動紹介でも動画などを取り入れ、楽しくわかりやすいホームページを目指して魅力あるものにして更新しております。以上です。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。続きまして、地域部会等の報告を伊藤事務局長からお願いします。

伊藤事務局長

事務局長の伊藤です。地域部会でございますが、各地域部会が主体となり運営。地域の特性や会員のニーズを踏まえ、テーマを決め、研修会等を開催しております。実施に当たりましては、地域住民や各種団体等が参加できるように配慮いたしまして、フォーラム活動に協力していただける団体とのネットワーク拡充を図っております。組織の強化を図るため副部会長の導入を検討しております。若い方からも入ってもらおうという趣旨です。

まず、置賜地域部会につきましては、「真下慶治と最上川～真下清美館長のギャラリートーク」を白鷹町で行いました。次に「身近な川や水辺の健康診断」事前指導・調査サポートですが、本日も出席いただいております、しらたかサイエンスクラブ高山団長さん始め、皆さんからご指導いただいております。それから、最上川河川敷にてヒマワリを植栽しております。

村山地域部会につきましては、尾花沢市での紙芝居の初披露会に参加しております。それから数多く開催している「スポーツ GOMI 拾い」の運営スタッフとして参加協力しております。それから「やまがた環境展 2015」出展ブースにてスタッフとして参加協力しております。副部会長として、大岩敏男さんになっていただきました。水環境発表会等でご支援をいただいている方です。

最上地域部会は「桜を守り育てる研修会」を金山町で開催いたしました。当フォーラムに非常に協力いただいております樹木医の山田先生に講師になっていただいております。それから「遊学の森杯スポーツ GOMI 拾い」を開催しました。それから「もがみの湧水補完調査」としまして、ずっと続いているのですが、27 年度はご覧のような調査を行いました。県では 27 年度から「里の名水・やまがた百選」の募集を行っております。

庄内地域部会につきましては、「身近な川や水辺の健康診断」の事前指導・調査サポートを実施しております。次に新井田川水系の桜並木の健康調査を樹木医の山田先生のご協力をいただきまして行っております。それから、先ほどお話しいただきました「舟運文化シンポジウム」の開催でもご協力いただいております。

それから、通常総会、運営委員会、合同部会につきましてはご覧のとおりです。

その他、委託事業・助成事業・連携事業などについて、ご説明申し上げます。1 番「平成 27 年度川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」業務ということで山形県循環型社会推進課様から受託しておりまして、委託料は 5,991,000 円で、スポーツ GOMI 拾い開催や海岸漂着物問題普及啓発の実施、小水路ゴミトラップ（簡易柵）の設置箇所のフォローアップを行っております。それから 2 番「みちのく国づくり支援事業」、これは一般社団法人東北地域づくり協会様から「最上川をきれいに『ゴミを捨てない県民運動』」としまして、ホームページ「最上川環境マップ」の維持ということで、150,000 円をご支援いただいております。それから 3 番「水環境保全助成事業」で、これは一般社団法人全国浄化槽団体連合会様から 200,000 円の助成をいただいております、「身近な川や水辺の健康診断」の実施に充てております。4 番「東北夢の桜街道」寄付金ということで山形信用金庫様から 100,000 円の寄付をいただいております。それから 5 番「Web 約款寄付活動」として、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社様から 190,270 円のご寄付をいただい



ております。6番は「山形県海岸漂着物対策推進協議会」へ参加をしております。7番「美しい多摩川フォーラム」との連携事業としまして、東北・夢の桜街道推進協議会の事業等の推進を行っております。その他助成の獲得への働きかけを行っております。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。これらの活動を行う上でのお金の出し入れについて、平成27年度収支決算（案）について説明をお願いします。

事務局（佐藤）

それでは事務局より平成27年度収支決算案をご説明いたします。まず、収入の部です。会員の皆様からの会費収入が5,825,780円、県負担金400,000万円、県からの委託料「川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」業務が5,991,000円、夢の桜街道積立金から3,500,000円、前年度からの繰越金が2,012,196円、諸収入といたしまして、「もがみがわ水環境発表会の協賛金」、下の方の※にあります7つの企業団体様からのご支援90,000円、あとはただいま説明ありました各種助成、寄付金で、東北地域づくり協会様の「みちのく国づくり支援事業」、全国浄化槽団体連合会様の「水環境保全助成事業」、山形信用金庫様の「東北夢の桜街道寄付金」、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社様の「web約款寄付」を合わせ、730,270円のご支援と預金利子などを合わせ731,178円で、収入の部合計が18,460,154円となっております。支出の部は、運営費が8,953,210円です。内訳は①から⑤のとおりです。事業費につきましては、6,727,700円で、①から⑩の事業に充当し、各事業費はご覧のとおりとなっております。予備費といたしまして3,324円を「最上川流域地域づくり推進協議会」の会費として支出しております。他に、夢の桜街道への積立金が2,500,000円となっております。以上支出額合計が、18,184,234円となっております。収入支出の差し引き、275,920円を平成28年度への繰越金とさせていただきます。また、各積立金につきましては、「フォーラム基盤強化積立金」の27年度の期末残高が2,109,352円、「夢の桜街道積立金」の27年度期末残高が2,500,000円となっております。以上簡単ですが、収支決算案の説明を終わります。

議長（柴田会長）

これまで報告いただいた活動について監査をいただいております。また、今説明した収支決算書についても監査をいただいておりますので、監事から監査結果についての報告を承りたいと思います。よろしくをお願いします。

監事（川口監事代理）

監査を仰せつかっております朝日町長の鈴木が公務のため出席できないため、代わって出席させていただきました朝日町副町長の川口でございます。私の方から監査報告書を読み上げさせていただきます。監査報告に代えさせていただきます。

監査報告書、平成27年度収支決算書に基づき、帳簿及び証拠書類その他を精査した結果、相違ないと認めます。なお、平成27年度事業実績書に基づき、事業の内容について監査した結果、適

正であったことを認めます。

平成 28 年 5 月 16 日

美しい山形・最上川フォーラム監事 佐藤学、鈴木浩幸。以上でございます。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。平成 27 年度の活動等の報告について、皆さんからご質問、ご意見がありましたらご遠慮なくいただきたいと思っております。いかがでしょうか。ここがわからないなど何かありましたらどうぞ。詳しく説明いただいたことと、資料にも詳しく書いてあるので、見ていただければご理解いただけるかと思えます。

（会場意見なし）

議長（柴田会長）

よろしいでしょうか。

それではこれまでの報告に基づいて、第 1 号議案の平成 27 年度の事業報告及び決算案については原案のとおりお認めいただけるということですのでよろしいでしょうか。

（会場異議なし）

（会場拍手）

議長（柴田会長）

認めさせていただきます。ありがとうございました。

（2）平成 28 年度事業計画案及び予算案

議長（柴田会長）

続きまして、第 2 号議案の平成 28 年度事業計画案及び予算案について説明をお願いします。これも同じように清流・環境対策部会、最上川文化・経済活性化部会の順番でお願いします。

菅原部会長

それでは、清流・環境対策部会関係の平成 28 年度事業計画案について申し上げます。まずは最初の部分を読み上げます。

「捨てない・すてさせない in 最上川」キャンペーンによるゴミ発生源対策は、平成 25 年度から取り組んで広まってきている「スポ GOMI 大会」を地域や企業と連携し継続実施する。この活動は「海岸漂着物問題対策」の一環として位置づけて、引き続き全県で展開していく。「身近な川や水辺の健康診断」「クリーンアップ・キャンペーン」の報告書や機関誌「さくら物語」はwebを活用した形で発行する。

最上川夢の桜街道づくりは、維持管理等の相談に樹木医を派遣するほか、桜守養成講座修了者への認定書の発行、交流会の開催等ネットワーク作りの支援に重点をおく。「東日本大震災復興プ

プロジェクト」や「水辺の四季写真コンテスト」の開催、紙芝居による地域おこしなど東北復興や最上川の文化・資産の再発見、掘り起こしによる交流人口の増加を期待する。

継続事業をブラッシュアップしながら、「美しい元気な山形づくり」のもとに、環境保全と経済活性化を両立させる活動の継続実施を目指す。

清流環境対策部会の各事業について、ご説明いたします。「1 身近な川や水辺の健康診断」は6月4日から6月12日に行っております。学校などで調査の場合は7月29日までの実施予定を認めることとしております。参加を広報し、参加グループ数は100グループ、調査地点数は250地点を想定しております。実施検討会を4月19日に開催。実施体制など詳細について検討・決定しております。実施検討会の参加者は、27年度と同様に国・県の関係行政機関、地域部会、大学、地域で環境保全活動に携わっているに参加していただいております。調査補助指導者の派遣として、新規参加者や学校などで参加する場合に、要望があれば地域部会や会員専門機関にご協力いただき、事前講習や現地調査補助を積極的に行っております。水生生物調査につきましては、主催の山形県環境科学研究センター様と連携し、希望グループについては、「身近な川や水辺の健康診断」との同時申込可能として募集いたしております。透視度計は例年どおり、各地域において貸出担当者・場所についてご協力をいただき、参加者からの申し込み順に貸出しをしております。調査結果集計は引き続き、公益社団法人山形県水質保全協会様の協力をいただきまして「水辺診断書」としてレーダーチャートを作成する予定でございます。「2 美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」は参加を広報し、参加グループ数は50～60グループを想定しております。1グループ当たり一律3,000円の支援費を想定いたしております。これは前年度と同様でございます。クリーンアップ全国事務局にデータを提供します。これも前年度と同様でございます。全国川ごみネットワークが主催予定の「全国水辺のごみ調査」へ情報提供し、結果を共有することとしております。イベントとのコラボレーションを継続し、波及効果を狙ってまいります。山形新聞社と連携した「AQUA SOCIAL FES!!2016」を今年も継続し、第1回目が6月11日（土）、馬見ヶ崎川河川敷で開催しております。第2回が9月24日に大江町で開催予定でございます。「3 ゴミ発生源対策「捨てない・すてさせない in 最上川」の継続事業でございます。①「川～海をつなぐ美しい元気な山形づくり業務」として、「スポ GOMI 大会」を実施いたします。27年度に引き続き海岸漂着物問題対策の普及啓発として、県内各地で市町村や地域の団体等と連携して15回以上の開催を予定しております。現在、4月17日、川西町は雨天のため順延となりました。5月15日、遊学の森（金山町）。5月25日、米沢市チャレンジデー特別企画。6月11日、AQUA SOCIAL FES!!2016（山形市馬見ヶ崎河川敷）。6月19日、ふるさと OMOIYARI プロジェクト川西・米沢で米沢青年会議所との連携でございます。6月26日、モンテディオ杯2016。7月10日、スポ GOMI 新庄大会。9月18日、スポ GOMI 長井大会。8月6日、スポ GOMI 川西大会が決まっております。また、海岸漂着物問題普及啓発を実施いたします。「身近な川や水辺の健康診断」等の実施にあわせて、小中学生等に対して出張講座を行います。10回以上の実施を予定しております。5月16日（月）河北町衛生指導員研修会にて講演しました。②山形県海岸漂着物対策推進協議会との連携として、6月17日、総会に出席しております。③川ごみ団体との連携として、「川ごみサミット」への参加等の予定です。④ホームページ「最上川環境マップ」を整備いたします。「美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」、「スポ GOMI」の参加申込みや結果を随時更新し、実施場

所の効率化を図ります。「4 もがみがわ水環境発表会」です。運営準備会議を2回開催し、実施詳細の検討を行い決定していきます。運営準備会議の参集者は27年度と同様に国・県の行政機関、清流・環境対策部会専門機関です。小・中・高校生の参加を推進いたします。水辺の健康診断実施団体などへの発表の働きかけや小学生については、「かべ新聞」で発表者の拡大を図ります。また、発表テーマを広く水環境を考える内容とし、募集して参ります。「5 報告書「笑顔を写す山形の川」」は冊子で作成していた報告書から変更し、「身近な川や水辺の健康診断」は全県のデータを1枚の河川地図上にまとめた概要版のみ印刷し、地域ごとの結果はホームページ上に掲載いたします。「美しいやまがたクリーンアップ・キャンペーン」の結果報告は、あわせてホームページの「環境マップ」に随時掲載し、WEB上で報告いたします。第1号議案にありました普及啓発について、1から5の活動の中で普及啓発して前年と同様に進めてまいりたいと思います。以上です。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。続いて、最上川文化・地域経済活性化部会をお願いします。

本間部会長

次の説明についても副部会長の横尾さんから説明させていただきます。

横尾副部会長

新年度に入り、既に開催した事業もごございますので、ご了承ください。

「1 最上川夢の桜街道づくり」は①維持管理等の相談について樹木医を派遣します。最近はテングス病についての相談が多いということです。②桜守育成のための研修会をさらに広げ、桜守の養成のため、地域部会と連携して「桜守養成講座」を開催します。座学、実習を規程の時間受講した方に対しては認定証の発行を行います。4月17日（日）、上山市羽州桜の会との共催で研修会を村山地域部会が開催しました。また、11月6日（日）には金山町で最上地域部会が開催予定です。③「最上川夢の桜街道づくり地域活動支援事業」や樹木医の相談等がかかわりのある団体・市町村との交流会を計画し、会員・一般に向けて募集し、桜の時期に訪問するなど交流の機会を設けます。また、桜の研修会参加者等、地域で桜の維持管理活動をしている方々の全県的なネットワーク作りの支援を推進します。「2 東日本大震災復興支援プロジェクト「東北・夢の桜街道～桜の札所・八十八ヶ所巡り」」は、①美しい多摩川フォーラムと連携し、「東北・夢の桜街道推進協議会」メンバーとして、桜をシンボルに東北の復興を目指した観光振興運動を行っていきます。②東北・夢の桜街道推進協議会主催の「第5回“美しき桜心の物語”の語り会」といたしまして、4月29日（祝）、秋田県角館樺細工伝承館で開催されたものに参加いたしました。こちらは、既に終了しております、元NHKアナウンサーの平野啓子さんに語っていただいております。「3 夢の桜街道～さくら物語～」は、事業報告を主としたWeb Paperとして作成し、ホームページ上に掲載いたします。

「4 夢の桜街道キャンペーン」は、4～5月にかけて協賛金融機関各支店で実施いたします。資料・啓発物品の配布を行います。29年度の啓発物品の内容を検討いたします。「5 写真コンテスト受賞

作品写真展」を開催します。これまでの写真コンテスト受賞作品の貸出しを希望者に対して随時行います。桜の時期に合わせて、夢の桜街道写真コンテスト入賞作品の展示と、桜維持管理事業の啓発も兼ねた写真展を行いました。4月9日から16日に上山市長屋門ギャラリーで開催されました。4月16日から5月1日は村山市甕葉プラザ、5月1日から15日は東根市の山形空港で開催されました。また「かわとぴあ」などイベント会場での出展の機会を利用し展示いたします。「6写真コンテスト」、こちらは隔年開催としています。テーマは「第3回水辺の四季」とし募集いたします。「7ホームページの更新」は、①コンテンツを部会ごとに整理するなどトップページのリニューアル、関連のあるものの相互リンクを貼る等、より見やすいものにしていきます。②動画などを取り入れ、活動予定、報告などを中心に随時更新していきます。「8地域おこしの紙芝居作成」は、①地域部会で行ってきた紙芝居をスキルアップしながら地域を越えて繋いでいきます。②4月から紙芝居づくりワークショップを開催しています。白鷹町立白鷹中学校の生徒と紙芝居づくりを行い、出来上がった紙芝居の小学生への読み聞かせなどにより、地域資源として活用してもらおうとしています。以上でございます。

議長（柴田会長）

ありがとうございました。続きまして地域部会等について事務局長からお願いします。

伊藤事務局長

地域部会につきましては、同様に行っております。

置賜地域部会につきましては、紙芝居づくりワークショップの開催。それからしらたかサイエンスクラブによる地区小学生への川に関する環境教育。それから最上川河川敷でのヒマワリやコスモスの植栽であります。

村山地域部会につきましては、桜の維持管理活動ということで、もう既に実施しております。それから環境学習会など開催の検討。「やまがた環境展」出展の際のスタッフ協力。それから「スポ GOMI 大会」へ、スタッフとして参加協力いたします。また、海岸漂着物問題啓発の一環として、河北町衛生指導員研修会にて講演いたしました。それから、「身近な川や水辺の健康診断」の現地調査サポートに協力いたします。

最上地域部会は引き続き、「湧水マップ」箇所現状調査について、最上町において実施予定です。それから「スポ GOMI 大会」は既に金山町遊学の森にて開催しております。「桜を守り育てる研修会」を11月に金山町にて開催する予定です。そしてこのたび、副部会長として、富里高義様をご就任されました。

庄内地域部会につきましては、「身近な川や水辺の健康診断」希望校等について、現地で調査活動をサポートいたします。それから桜の維持管理活動につきましては、「桜所在地と管理状況一覧・マップ」を作成し地域の桜の状況を把握するというところで、放置桜群の管理手入れ方を検討して、可能な箇所から手入れを行いたいということでもあります。あとは「桜の維持管理研修会」の開催を検討します。

総会、運営委員会、部会につきましてはご覧のとおりでございます。

その他委託事業、助成事業につきましては、「1山形県委託事業 平成28年度川～海をつなぐ「美

しい元気な山形づくり」業務」で、金額は後ほど予算のところの説明いたします。それから「2「やまがた社会貢献基金「団体支援助成事業」、3「やまがた社会貢献基金「平成28年度協働助成事業（テーマ希望型）」ということで、応募いたしました。それから「水環境保全助成事業」ということでこちらも応募いたしております。1から4につきましては、後ほど予算案で説明をさせていただきます。そのほか、様々な助成事業に申し込みをして、非常に苦しい財政でございますので、何とか資金を獲得していきたいと思っております。以上です。

議長（柴田会長）

ありがとうございます。続きまして、これらの事業を行う平成28年度の予算書の案について説明をお願いします。

事務局（佐藤）

それでは平成28年度収支予算案をご説明いたします。はじめに、収入の部です。会費収入ですが5,500,000円、県負担金が前年度と同じく400,000円、山形県委託事業「川～海をつなぐ「美しい元気な山形づくり」業務」、先ほどの事業計画の委託・助成事業の中で説明ありましたが、6,048,000円、夢の桜街道積立金より2,500,000円、27年度からの繰越金が275,920円、諸収入には預金利子など1,080円を計上しております。ただいま事業計画説明の中で助成金、寄付金等の説明がありましたが、やまがた社会貢献基金「団体支援助成事業」は助成予定額113,000円が採択されました。また、やまがた社会貢献基金「平成28年度協働助成事業（テーマ希望型）」につきましても450,000円の助成予定額として、採択いただいております。そのほか、全国浄化槽団体連合会様の「水環境保全助成事業」につきましても、助成予定額200,000円の助成が決定したところですが、当初予算には計上されておりません。こちらにつきましては、年度後半の補正予算で対応させていただきたいと思っております。以上収入の合計額は14,725,000円となっております。次に、支出の部です。運営費が9,200,000円で、内訳は交通費150,000円、需用費450,000円、役務費800,000円、使用料はここ緑町会館の事務局賃借料を含め600,000円、事務局員費は事務局員2名分の給与、社会保険料、雇用保険料等といたしまして7,200,000円を見込んでおります。事業費は5,500,000円で、内訳は①～⑩のとおりです。また予備費が25,000円で、支出合計額は14,725,000円です。また、積立金の期首残高につきましては、「フォーラム基盤強化積立金」が2,109,352円、収入の部に計上しております夢の桜街道積立金2,500,000円です。以上で平成28年度収支予算案のご説明を終わります。

議長（柴田会長）

ありがとうございます。以上、第2号議案の28年度事業計画案と予算案について皆さんからご質問がありましたらお願いいたします。

今の特に予算案の説明については、先ほどの助成事業に赤字でご覧いただいた「やまがた社会貢献基金」2件と「水環境保全助成事業」の助成金は入っておりません。その3件のトータルの金額はいくらになりますか。教えてください。

事務局（佐藤）

3 件合わせまして、予定額は 763,000 円です。

議長（柴田会長）

これはのちの運営委員会で補正予算で了承を得ますが、本日の総会には間に合っておりませんでしたので、この金額をこの当初予算案に加えるような形で今年度は事業を進めていきます。この予算案を見ていただくとわかるように 2,800,000 円以上減っているということです。じっくり見て、2,000,000 円位減っている形で今年度の運営がなされなければならないと考えているところです。それも含めて、皆さんからご意見、ご質問がありましたらお願いいたします。

発言者（NPO「ブナの森」 長岡昇さん）

今年の事業計画の中に「第 3 回水辺の四季写真コンテスト」を開催するとなっておりますが、この機関紙「さくら物語～夢の桜街道」の表紙の写真は、「第 2 回」の写真コンテストの入賞作品でしょうか。そうであれば、お尋ねしたいのですが、この写真はグッとくるものがあります。毎回写真コンテストの受賞作品はものすごく良い作品がたくさんあるのですが、この作品はいろんなことを思わせる良い写真だと改めて思っております。この写真を撮るために何回ここに通ったのだろうか。おそらく家族の輦轡を買うくらい何度も通ったと思うのです。朝霧は濃すぎても薄すぎてもダメなのです。杉林にはかかからなくて裏山にはかかっている。このしだれ桜の開花期に絶妙の瞬間のたった 1 枚をとらえるために通ったのだろうと感じました。これを印刷物に使うのは良いことだと思うのですが、もっと Web で使わせていただいて、インターネット上で広げて紹介したいくらいなのですが、著作権はどうなっているのでしょうか。私も使わせていただいて、物語を書きたくなってくる。使わせていただくに際して、どなたに交渉すれば良いのか教えてください。

議長（柴田会長）

これは「第 2 回の夢の桜街道写真コンテスト」の入賞作品です。今回は「第 3 回水辺の四季写真コンテスト」として開催します。入賞作品については写真を拡大したものをフォーラムで持っていて、いろんなところで写真の展示会を行っています。この入賞作品については、この使用権はフォーラムでいただいております。Web から不特定多数の方が使うということは、我々は考えておりません。写真を使うときには、写真を撮った人の名前・場所をセットでだして、フォーラムの活動に使っています。

伊藤事務局長

補足しますと、使用権はフォーラムにあります。著作権は本人にあるので、使う写真の中に必ず、著作者の名前を入れることになっています。

発言者（NPO「ブナの森」 長岡昇さん）

これを使う場合は使用料を払わなければならないですか。

伊藤事務局長

そんなことはありません。

ただ、大量に使う場合は本人に了解をとりますので、フォーラムに連絡をいただきたいと思います。

議長（柴田会長）

Web の場合は著作者の権利を守ることは意識していきたいと思います。無断で使用できるような可能性がある場合は、チェックして使えないようにすることも含めて考えていきたいと思います。公募して入賞した際は、フォーラム活動で使わせてもらうということになっています。逆に本人がフォーラムで入選した作品を無断で、いろんなところに使うということは難しいです。

発言者（NPO「ブナの森」長岡昇さん）

Web 上で自由にコピーできる形とコピーできないように加工しているものに両方分かれています。大手の Web サイトでは良い写真を載せても勝手にコピーできないようになっています。ただそうするのは難しいでしょう。

伊藤事務局長

コピーして使用できないように対応したいと思います。

菅原部会長

フォーラムのホームページに載っている写真は画像が粗いので、それをプリントしても粗っぽくて見栄えはかなり落ちます。

発言者（NPO「ブナの森」長岡昇さん）

載せる段階でデータを粗くしているのですね。

議長（柴田会長）

ホームページに掲載しているのは使用価値がないような形ですね。

写真コンテストの際に入賞者の方には金額は多くないですが、賞状、副賞をおあげしていますが、できるだけその方の権利を守って、フォーラムで使わせてもらうようにしたいと思っていますので、どうしても使いたいという場合は、フォーラムと共同するなどでの掲載ということになるかと思います。

発言者（NPO「ブナの森」長岡昇さん）

毎回、良い写真ばかりなので、最上川フォーラムの Web サイトだけではもったいないと思うのです。



議長（柴田会長）

逆に言うと、最上川フォーラムの Web サイトだと、良いのが見られるということにもなるので、見たかったら、このサイトへどうぞということにもなり、我々のステータスかなと思っておりません。

発言者（NPO「ブナの森」 長岡昇さん）

財力に応じて使用料をとるということはどうでしょうか。

議長（柴田会長）

使用料をとることは考えておりません。我々の活動に資するところには、相談を受けて、掲載の許可を出したこともあります。我々の活動の兼ね合いで、写真を使えるかどうかは判断したいと思っていますので、知らないところで使うのは、原則は不可と考えております。

発言者（NPO「ブナの森」長岡昇さん）

これだけ良い写真があれば、大規模な商業ベースの場合に使わせてほしいということが出てくると思います。その場合、料金をとって著作権者と協会が適正に分けるということはおかしいことではないと考えています。

議長（柴田会長）

褒めていただくことはありがたいのですが、我々はお金をとって、収入事業をしないことが原則となっています。NPO を取っていないのはそこです。

発言者（NPO「ブナの森」長岡昇さん）

民間企業で働いてきたものですから、良いものにきちんとした対価を払うということは当然のことだと思っています。これだけの良い写真なので、大手企業のポスターを作る広告代理店が Web で探して使いたいというものが出てくると思います。それについて、適正な、負担できるところからはそれなりの料金をいただき、そうでない小さなところからは少しだけいただくとかするのは、それほど抵抗がないのですが。

伊藤事務局長

会員になってもらえれば良いです。大口の会員になってもらえれば問題はないです。

議長（柴田会長）

運営委員会で検討します。

財政的に厳しいので、合法的にもらえるのであれば欲しいのですが、できるだけ活動の妨げになるようなお金は関係したくないと思っています。

ありがとうございました。他に何かないでしょうか。

昨年度の事業と今年度の事業で、大きく違う点は、桜の植栽や維持管理など市町村等を通じて

助成金（全体で1,000,000円ほど）を支援してきましたが、それが無くなります。助成金を差し上げるのは効果があるのはわかっていますが、我々の財政内容が厳しいということと、我々のような弱小団体がお金のある市町村に、お金をあげるのはおかしいのではないかとされたものですから、今年度は二つの点からやめることになりました。ただし、我々とすれば、桜の維持管理等のノウハウを出すための樹木医の派遣は今年度も続け、活動を支援する形に変えていますので、その点は市町村の方からクレームが来るのではないかとも思うのですが、財政的に厳しいのでやむを得ないということご理解いただきたいと思います。

そのほか皆さんから何かないでしょうか。

（会場意見なし）

それでは、今説明しました第2号議案の平成28年度事業計画案と予算案については、お認めいただいたこととさせていただいてよろしいでしょうか。

（会場拍手）

議長（柴田会長）

ありがとうございました。

#### 4. その他

議長（柴田会長）

その他のところをお願いします。

伊藤事務局長

会員状況についてご報告いたします。28年6月20日現在でございますが、国が5、県が1、市町村が35、団体が35、法人が260、個人が3,785、トータルで4,121名となっております。昨年と比較しまして106名減となっております。以上です。

議長（柴田会長）

今の報告について、何かご質問はないでしょうか。

昨年と比べると合計で106名の会員の減となっています。会員数が減るのは非常に痛いので、できるだけ確保していきたいと思います。我々も頑張りますが、会員の皆さんも会員の確保にはご協力いただければと思っております。会費の不足について、多くの場合は会費を上げようということになりますが、我々は会費を上げないで、参加者の数を増やし、財政を少しでも豊かにしたいということで、今年度も個人会員1口1,000円は上げません。皆さんから何年もつかと言われますが、我々の活動は多くの人に参加して、はじめて事業として成り立つので、多くの人に参加しやすいように会費を上げないことが大事かと思っています。

とは言え、お金がないので、これから運営委員会で検討したいと思います。それは現在法人会員

の1口3,000円の会費について、一般法人会員は維持します。ゆとりのある法人、3,000円より多く出しても良いというところもあると思います。そういう時はこれまで、口数を増やしてもらった方が良いと思っておりましたが、特別会員、例えば特別会員は年会費を30,000円とするとか、できるだけ負担をかけない程度の特別会員制度をつくりたいと思っています。これは、運営委員会で議論して、そういう会員をつくるかどうか決まった場合は、また皆さんに報告したいと思います。

そういう特別会員というものをつくることについて、何か皆さんの意見がありましたら今後の活動に活かしていきたいと思っていますので、ご意見を賜りたいと思います。何かないでしょうか。

特別会員というステータスをつくるのも良いのかなと思います。金額についてはいくらが良いのかわかりませんが、運営委員会で議論しながらどのような形でいけるか。ただ基本的な考え方は、多くの人に参加することによってこの会の意味があるのだという認識は変えません。

特別会員制については、考えているということを皆さんにお知らせします。方向が決まりましたらまた報告したいと思います。

そのほか皆さんから何かないでしょうか。

先ほど、素晴らしい写真がたくさんあるという話をいただきましたが、その写真を会員の皆さんに活かしてもらえないかと思っています。今多くの場合は、金融機関になりますが、これまでの入賞作品を貸し出して店舗などで飾るのに、無料で貸し出しています。このように我々が持っている良い写真をいろいろな形で使いたいと思っています。ですから、会員の旅館などがありましたら、特定の期間掲示するなど、遠慮なく使っていただきたいと思っています。事務局まで言っていただければと思います。桜の時期にホテルや旅館で山形のきれいな写真を飾ってもらうなど利用してもらいたいと思います。会員には、銀行や旅館などたくさん入会していただいているので、有効に使っていただければありがたいと思っています。機会があれば皆さんからお話しいただきたいと思っています。会員の方に無料で貸し出しますので、有効に利用していただきたいと思っています。このようにお話ししても、申し込んでこないのが我々のPRが下手なのか、山形の桜を商売に活かそうとしないのか、桜の時期の前後3か月間くらい飾れば、非常に効果が大いのではないかと感じています。我々にとっても、写真を展示していただくと、最上川フォーラムの名前が出るので知名度を広げるメリットもあります。我々の活動はお金をもらうメリットもありますが、知名度をもらって会員を増やしたいということが本音なので、写真の活用についてはこれからも考えていきたいと思っています。皆さんからこのような使い方をしたらどうだということがありましたら教えていただければ対応したいと思っています。

他になれば、本日の議題を終了したいと思います。

今年度もよろしくお願ひします。いろいろご協力、ありがとうございました。

司会（松本さん）

柴田会長ありがとうございました。以上をもちまして、平成28年度美しい山形・最上川フォーラム通常総会を閉会いたします。長時間にわたるご審議、誠にありがとうございました。